

2021年度

『授業改善のための学生アンケート調査』の
結果および評価報告書
(後期)

北海商科大学

目 次

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について	3
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	3
2. 調査の実施方法	3
3. アンケート回収結果	3
4. アンケート調査項目	4
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	7
6. 教員返却用集計フォーム	9
II. 集計結果について	11
1. 全科目の単純集計結果について	11
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	14

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学に課せられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく、教育方法改善委員会のもとで2009～2019年度に引き続き（2020年度は新型コロナウイルス感染症により異なる方法にて実施された）2021年度においては、開講されている全授業科目を対象にCoursePowerを利用したアンケート調査を実施しました。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2021年度後期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：CoursePowerを利用したアンケート調査
- (2) 調査期間：2022年1月17日（月）～2月1日（火）
- (3) 調査対象：開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含む全ての授業）。ただし、履修者2名以内の科目は除く。
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。「学生の行動」「授業手法・教員の行動」「授業内容」「教育効果」などに関する「選択式回答21項目」「自由記述回答3項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1の通りです。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A)対象科目数	(B)実施科目数	(C)実施率(B/A)%	(E)対象科目受講者数	(F)実施科目回答者数	(G)回答率(F/E)%
(1)異文化交流科目（語学）	10	10	100	182	87	47.8
(2)異文化交流科目 社会と文化（異文化ゼミナール）	8	6	75.0	81	24	29.6
(3)異文化交流科目 社会と文化（異文化ゼミナール以外）	19	19	100	1,317	402	30.5
(4)専門基礎科目	15	15	100	773	241	31.2
(5)専門関連科目	22	21	95.5	672	137	20.4
(6)商学科専門科目	41	37	90.2	1,412	322	22.8
(7)観光産業学科専門科目	31	28	90.3	651	130	20.0
(8)専門キャリアアップ科目	15	11	73.3	182	86	47.3
(9)教職に関する科目	7	7	100	26	2	7.7
合計	168	154	91.7	5,296	1,431	27.0

4. アンケート調査項目

Q1. この授業を選択した理由は何ですか。（必須）

- 5 興味・関心があったから
- 4 役に立ちそうだったから
- 3 卒業に必要だったから
- 2 時間が空いていたから
- 1 友人等に薦められたから
- 0 何となく

Q2. この授業への出席率は何%ですか。（必須）

- 5 80%以上
- 4 60%以上
- 3 40%以上
- 2 20%以上
- 1 ほとんど出席していない

Q3. 授業中（オンデマンド型授業を含む）、その時間内は集中できましたか。（必須）

- 5 大変集中した
- 4 ある程度集中した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり集中しなかった
- 1 全く集中しなかった
- 0 よくわからない

Q4. 授業のなかでわからないことがあれば質問しましたか。（必須）

- 5 よく質問した
- 4 ある程度質問した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり質問しなかった
- 1 全く質問しなかった
- 0 よくわからない

Q5. シラバスに学習時間（予習・復習）等の内容が記載されておりますが、当該科目の1週間の平均的な学習時間（予習・復習・課題）はどれくらいですか。（必須）

- 5 4時間以上
- 4 3時間以上4時間未満
- 3 2時間以上3時間未満
- 2 1時間以上2時間未満
- 1 1時間未満

Q6. 教員は十分な準備と熱意で授業を行ったと感じましたか。（必須）

- 5 十分な準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 4 準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 3 どちらともいえない
- 2 十分とはいえないと感じた
- 1 不十分であったと感じた
- 0 よくわからない

Q7. 教員が授業で話す言葉は、明瞭で聞き取りやすかったですか。（必須）

- 5 非常に明瞭で聞き取りやすかった

- 4 明瞭で聞き取りやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり明瞭ではなかった
- 1 聞き取りにくかった
- 0 よくわからない

Q8. 授業の進行速度はどう思いましたか。(必須)

- 5 非常に良い
- 4 良い
- 3 普通
- 2 あまり良くない
- 1 良くない
- 0 よくわからない

Q9. 教員は学生の理解度を確認し、必要に応じて補足しましたか。(必須)

- 5 非常によく補足した
- 4 よく補足した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり補足しなかった
- 1 まったく補足しなかった
- 0 よくわからない

Q10. 教員は、対面・遠隔授に応じて、黒板や視聴覚機器などを有効かつ適切に使用してましたか。(必須)

- 5 非常に有効かつ適切に使用していた
- 4 ある程度有効に使用していた
- 3 どちらともいえない
- 2 有効かつ適切ではなかった
- 1 不適切であった
- 0 よくわからない

Q11. (対面授業の場合) 教員は私語などの講義を妨害する不適切な行動を止めていましたか。(必須)

- 5 止めていた
- 4 ときどき止めていた
- 3 どちらともいえない
- 2 ほとんど止めていなかった
- 1 まったく止めていなかった
- 0 よくわからない

Q12. 教員は学生の質問に適切に対応しましたか。(必須)

- 5 非常に適切に対応した
- 4 ある程度適切に対応した
- 3 どちらともいえない
- 2 対応していなかった
- 1 まったく対応していなかった
- 0 よくわからない

Q13. レポートや課題、小テストは授業の理解に役立ちましたか。(必須)

- 5 非常に役に立った
- 4 ある程度役に立った

- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立たなかった
- 1 全く役に立たなかった
- 0 よくわからない

Q14. 試験回数や採点方法は適切でしたか。(必須)

- 5 非常に適切であった
- 4 ある程度適切であった
- 3 どちらともいえない
- 2 適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなかった
- 0 よくわからない

Q15. 教科書や配布資料は分かりやすいものでしたか。(必須)

- 5 非常にわかりやすかった
- 4 ある程度わかりやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 わかりやすくはなかった
- 1 わかりにくかった
- 0 よくわからない

Q16. 授業内容はよく理解できましたか。(必須)

- 5 非常によく理解できた
- 4 ある程度理解できた
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり理解できなかった
- 1 全く理解できなかった
- 0 よくわからない

Q17. 授業展開はシラバス(講義概要)に沿ったものでしたか。(必須)

- 5 シラバスに沿ったものであった
- 4 おおむねシラバスに沿ったものであった
- 3 どちらともいえない
- 2 シラバスに沿った点は少なかった
- 1 シラバスに沿ったものではなかった
- 0 よくわからない

Q18. 授業内容は今後の勉学や社会生活に役立つと思われましたか。(必須)

- 5 非常に役に立つと思う
- 4 ある程度役に立つと思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立つと思わない
- 1 全く役に立つと思わない
- 0 よくわからない

Q19. 授業は知的好奇心を刺激し、さらに学習の意欲をかきたてるものでしたか。(必須)

- 5 知的好奇心を強く刺激され、さらに学習の意欲もかきたてられた
- 4 ある程度知的好奇心は刺激された
- 3 どちらともいえない
- 2 知的的好奇は刺激されなかった
- 1 知的的好奇は全く刺激されなかった

0 よくわからない

Q20. 遠隔授業の場合、教員による遠隔授業の準備や運営方法は適切で学習しやすかったですか。(必須)

- 5 非常に適切で学習しやすかった
- 4 ある程度学習しやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなく学習しにくかった
- 0 よくわからない

Q21. 授業は全体として満足できるものでしたか。(必須)

- 5 非常に満足できた
- 4 満足できた
- 3 どちらともいえない
- 2 満足できなかった
- 1 まったく満足できなかつた
- 0 よくわからない

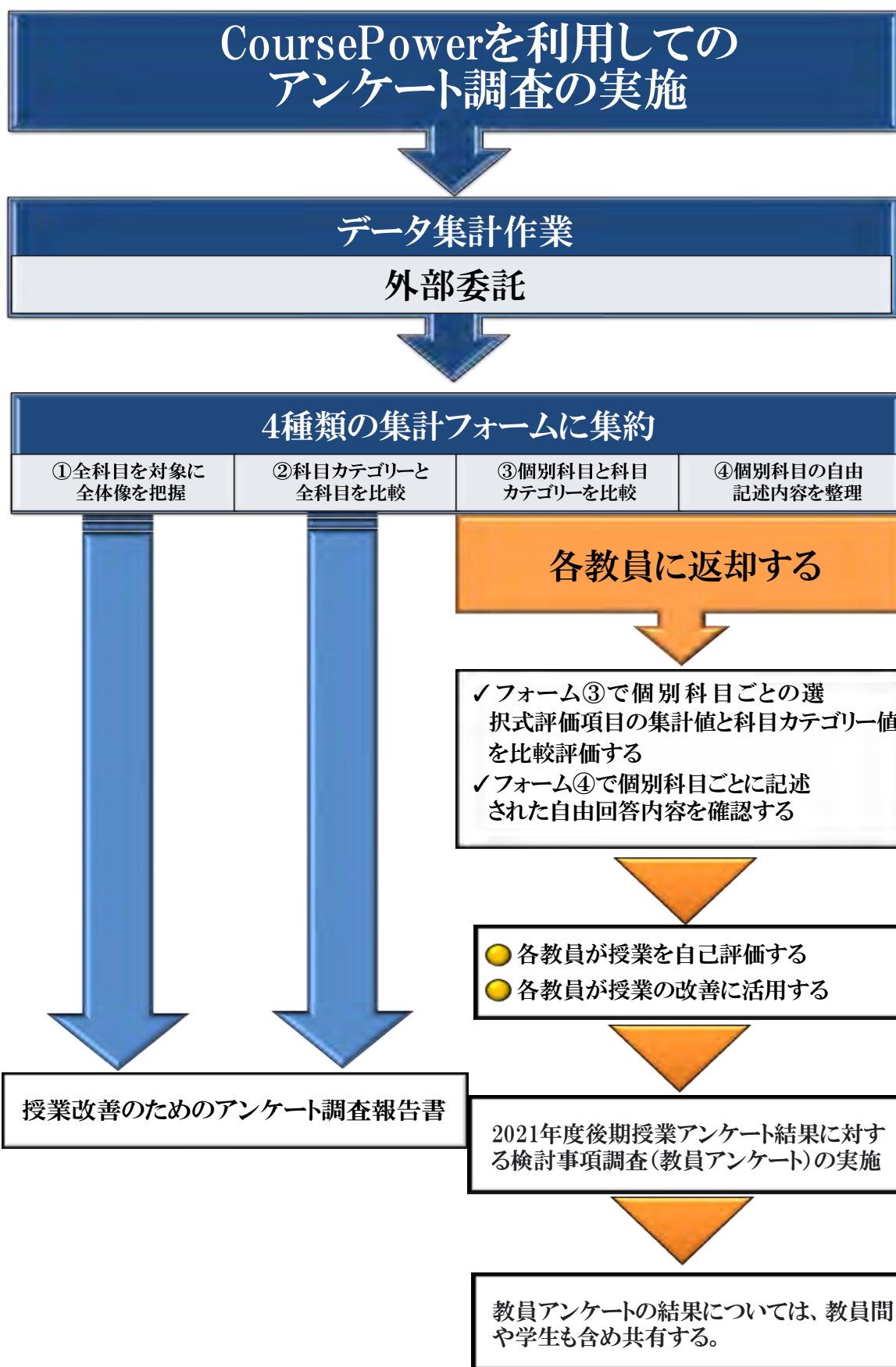
Q22. この授業で特に良かった点は何ですか。※300文字まで入力可

Q23. この授業で特に改善してほしい点は何ですか。※300文字まで入力可

Q24. その他に意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。) ※300文字まで入力可

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



6. 教員返却用集計フォーム

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

授業アンケート結果集計表

教員返却用集計フォーム③サンプル

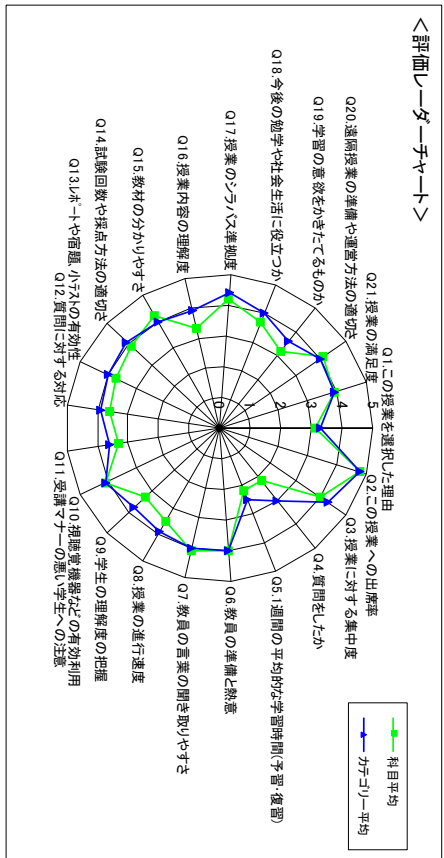
2021年度後期 北海商科大学

教員名	〇〇〇〇〇	履修者数	79名
科目名	×××××学	回収数	22枚
カテゴリ	▲▲▲▲▲	回収率	27.8%

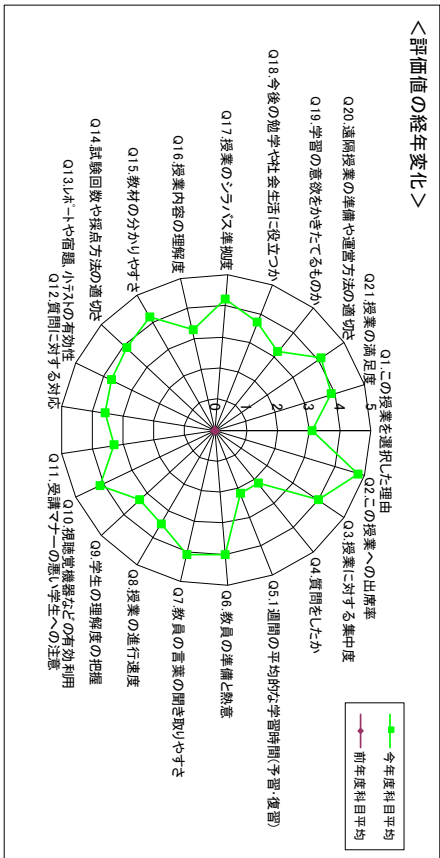
回答分布(人数と平均値・標準偏差)	質 問 内 容					0無回答	当科目	カテゴリ
	5	4	3	2	1			
01. この授業を選じた理由	0	3	19	0	0	0	3.1	3.3
02. この授業への出席率	0.0%	13.6%	86.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.75
03. 授業に対する集中度	21	0	0	0	1	0	4.8	4.8
04. 質問をしたか	95.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.83	0.76
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	8	11	1	0	2	0	4.0	4.3
06. 教員の準備と熱意	36.4%	50.0%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%	1.11	0.90
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	1	1	8	3	8	1	2.2	3.0
08. 授業の進行速度	4.5%	4.5%	36.4%	13.6%	36.4%	4.5%	1.15	1.33
09. 学生の理解度の把握	0	3	5	8	6	0	2.2	2.5
010. 視聴覚機器などの有効利用	0.0%	13.6%	22.7%	36.4%	27.3%	0.0%	1.00	1.00
011. 受講ターナーの悪い学生への注意	4	12	3	1	0	2	4.0	4.0
012. 質問に対する対応	6	10	2	0	3	1	4.1	4.0
013. ポートや宿題、小テストの有効性	27.3%	45.5%	9.1%	0.0%	13.6%	0.0%	0.95	1.09
014. 試験回数や採点方法の適切さ	4	6	8	3	0	1	3.5	3.9
015. 教材の分かりやすさ	18.2%	27.3%	36.4%	13.6%	0.0%	4.5%	0.96	1.06
016. 授業内容の理解度	3	2	10	1	5	22.7%	1.02	1.19
017. 授業のシラバス準拠度	9.1%	45.5%	4.5%	4.5%	0.0%	4.1	4.1	4.1
018. 今後の勉学や社会生活に役立つか	6	8	6	1	0	13	3.3	3.6
019. 学習の意欲をかきたてるものか	1	1	7	0	0	59.1%	0.67	1.05
020. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	2	4	7	0	9	3.6	3.9	3.9
021. 授業の満足度	5	9	3	3	1	3.7	4.0	1.3

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大きさを表す。

<評価リーダーチャート>



<評価値の経年変化>



教員返却用集計フォーム④サンプル

自由記述一覧

2021年度後期 北海商科大学

教員名：
科目名：

Q22 この授業で特に良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	動画で説明することから具体的に分かりやすく感じた点
2	オンラインが適切であった

Q23 この授業で特に改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

Q24 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。)

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

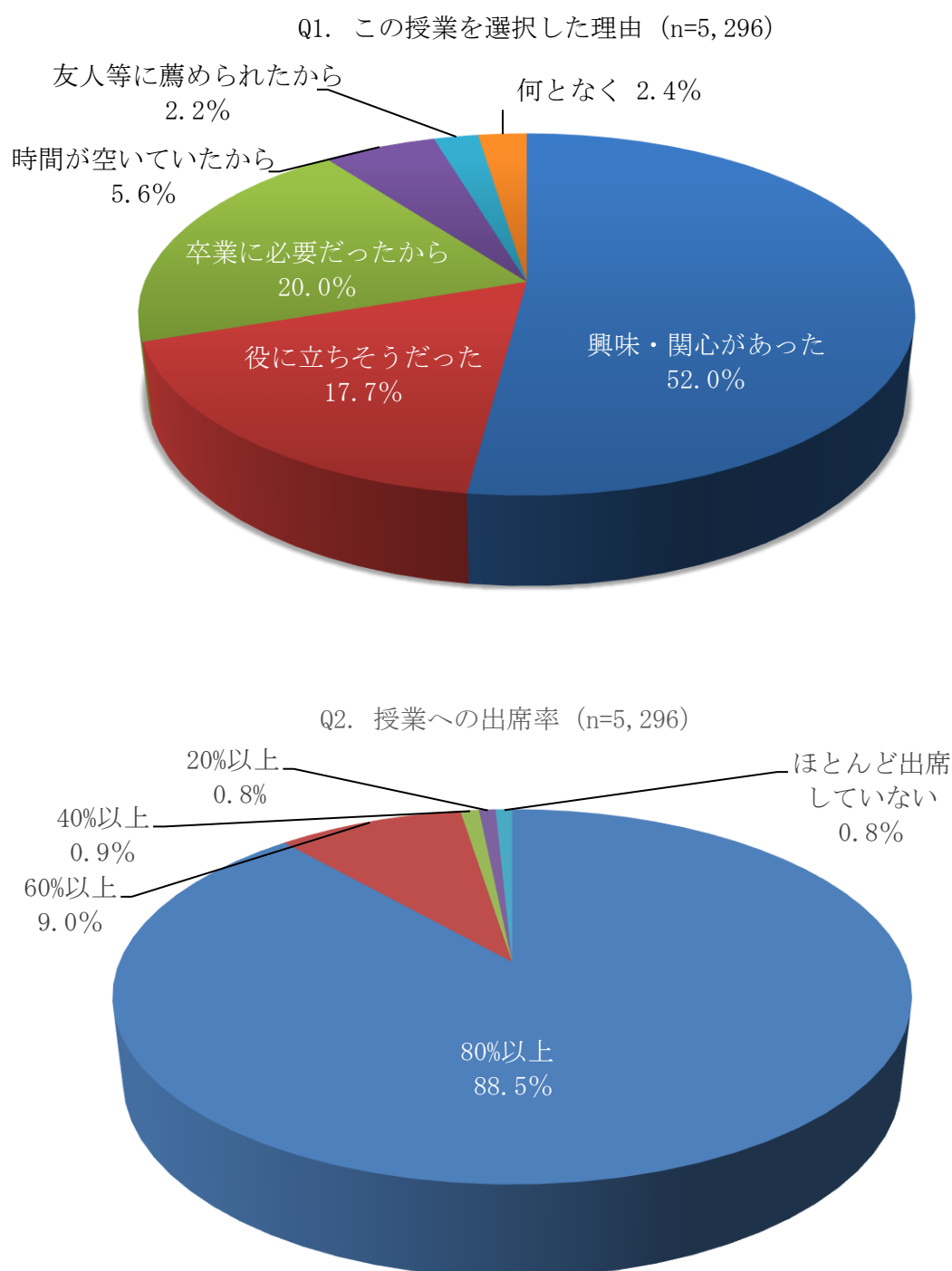


II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

(1) 講義の選択動機と出席率について (Q1. Q2.)



(2) 学生の受講姿勢 (Q3.～Q5.) と授業評価 (Q6.～Q21.) について

Q3.～Q5. までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は遠隔授業の場合も含み全科目の平均で「4.4」と高い結果であったが、授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、「3.0」でQ3.に比較すると低い値であり、積極性に問題点がありそうです。一方、学習に対する主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」では、「1時間以上2時間未満」とした回答が37.6%と最も多く、以下「2時間以上3時間未満」が25.2%、「1時間未満」が21.2%と続き、「4時間以上」は回答者全体の7.5%に止まりました。このことから依然として全般的に学習時間が不足しているように思われます。ただしQ4.とQ5.については、標準偏差が各々1.39、1.14であり、他の質問項目に比較して大きいことから、受講姿勢には個人差がみられます (p.13参照)。

Q6.～Q21.の授業評価については以下の通りです。「Q11. (対面授業の場合) 受講マナーの悪い学生への注意」の平均値は「3.9」であり、標準偏差1.03より教員対応に偏りが見られます。「Q17. 授業のシラバス準拠度」の平均値は「4.5」と最も高い結果となり、次いで「Q6. 教員の準備と熱意」「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」「Q15. 教材のわかりやすさ」の平均値は「4.4」となりました。その他の項目として、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」「Q8. 授業の進行速度」「Q9. 学生の理解度把握」「Q12. 質問に対する対応」「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」「Q16. 授業の理解度」「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」「Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ」「Q21. 授業の満足度」の平均値は「4.2～4.3」でした。

なお、各回答のバラツキを表す標準偏差は、Q4. Q5. Q11. 以外は概ね「0.7～1.0」の近傍にあり、質問項目間で大きな差は認められません。

一方、Q22.～Q24.の自由記述欄への回答に関しては以下の通りです。「Q22. この授業で特に良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で300件(特に無しは除く)の回答がありました。また、「Q23. この授業で特に改善して欲しい点は何ですか」の問いに対しては、回答が128件(特に無しは除く)、「Q24. その他の意見・要望があればご記入下さい」については73件(特に無しは除く)の回答が寄せられました。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において個別にコメントされます。

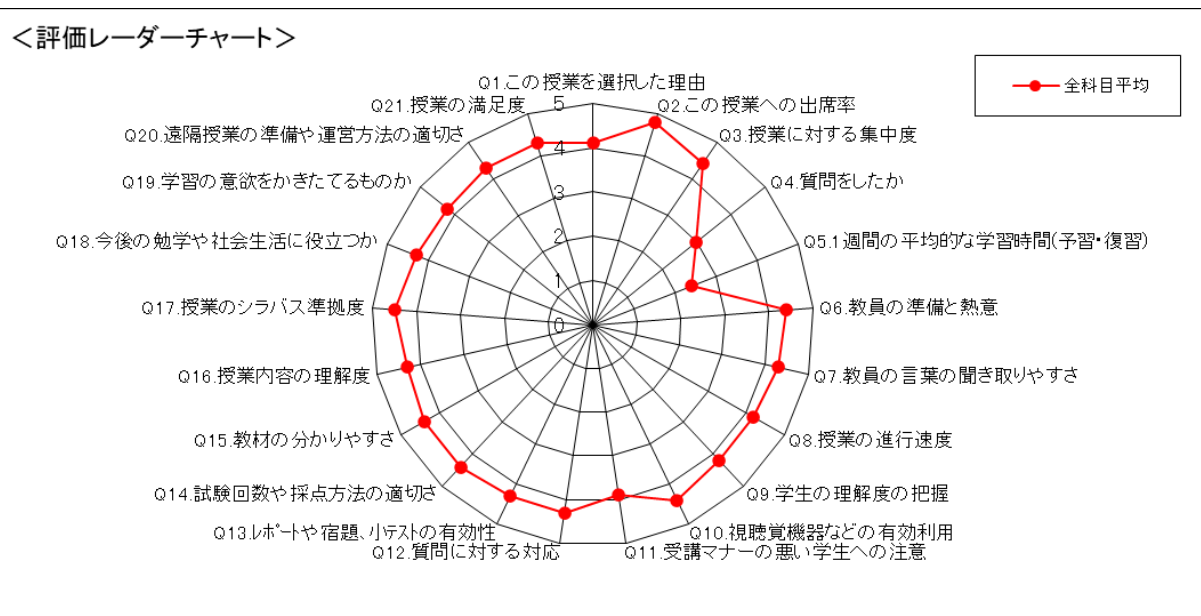
なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業改善に向けた参考資料として活用されます。

その後、2021年度後期授業アンケート結果に対する検討事項調査(教員アンケート)を実施し、その結果は、教員間や学生も含めて情報共有し、教員のFD向上さらには学生の勉学の向上のための基礎資料として利活用しています。

上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	全科目
Q1.この授業を選択した理由	744	254	286	80	32	35	4.1
	52.0%	17.7%	20.0%	5.6%	2.2%	2.4%	1.07
Q2.この授業への出席率	1267	129	13	11	11	0	4.8
	88.5%	9.0%	0.9%	0.8%	0.8%	0.0%	0.54
Q3.授業に対する集中度	779	502	93	24	13	20	4.4
	54.4%	35.1%	6.5%	1.7%	0.9%	1.4%	0.77
Q4.質問をしたか	245	219	417	149	303	98	3.0
	17.1%	15.3%	29.1%	10.4%	21.2%	6.8%	1.39
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	108	121	361	538	303	0	2.4
	7.5%	8.5%	25.2%	37.6%	21.2%	0.0%	1.14
Q6.教員の準備と熱意	798	429	123	34	21	26	4.4
	55.8%	30.0%	8.6%	2.4%	1.5%	1.8%	0.86
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	713	426	161	65	18	48	4.3
	49.8%	29.8%	11.3%	4.5%	1.3%	3.4%	0.93
Q8.授業の進行速度	691	420	245	33	16	26	4.2
	48.3%	29.4%	17.1%	2.3%	1.1%	1.8%	0.90
Q9.学生の理解度の把握	615	407	243	36	26	104	4.2
	43.0%	28.4%	17.0%	2.5%	1.8%	7.3%	0.95
Q10.視聴覚機器などの有効利用	788	408	140	17	16	62	4.4
	55.1%	28.5%	9.8%	1.2%	1.1%	4.3%	0.81
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	378	84	371	15	11	572	3.9
	26.4%	5.9%	25.9%	1.0%	0.8%	40.0%	1.03
Q12.質問に対する対応	633	276	219	18	13	272	4.3
	44.2%	19.3%	15.3%	1.3%	0.9%	19.0%	0.90
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	703	494	125	30	26	53	4.3
	49.1%	34.5%	8.7%	2.1%	1.8%	3.7%	0.87
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	740	415	140	28	19	89	4.4
	51.7%	29.0%	9.8%	2.0%	1.3%	6.2%	0.86
Q15.教材の分かりやすさ	755	481	113	28	17	37	4.4
	52.8%	33.6%	7.9%	2.0%	1.2%	2.6%	0.82
Q16.授業内容の理解度	663	565	119	43	18	23	4.3
	46.3%	39.5%	8.3%	3.0%	1.3%	1.6%	0.84
Q17.授業のシラバス準拠度	827	433	73	9	12	77	4.5
	57.8%	30.3%	5.1%	0.6%	0.8%	5.4%	0.71
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	691	503	138	35	24	40	4.3
	48.3%	35.2%	9.6%	2.4%	1.7%	2.8%	0.87
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	613	502	186	59	33	38	4.2
	42.8%	35.1%	13.0%	4.1%	2.3%	2.7%	0.97
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	736	427	140	38	23	67	4.3
	51.4%	29.8%	9.8%	2.7%	1.6%	4.7%	0.89
Q21.授業の満足度	723	489	117	48	25	29	4.3
	50.5%	34.2%	8.2%	3.4%	1.7%	2.0%	0.89

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。



2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。

<異文化交流科目：語学>

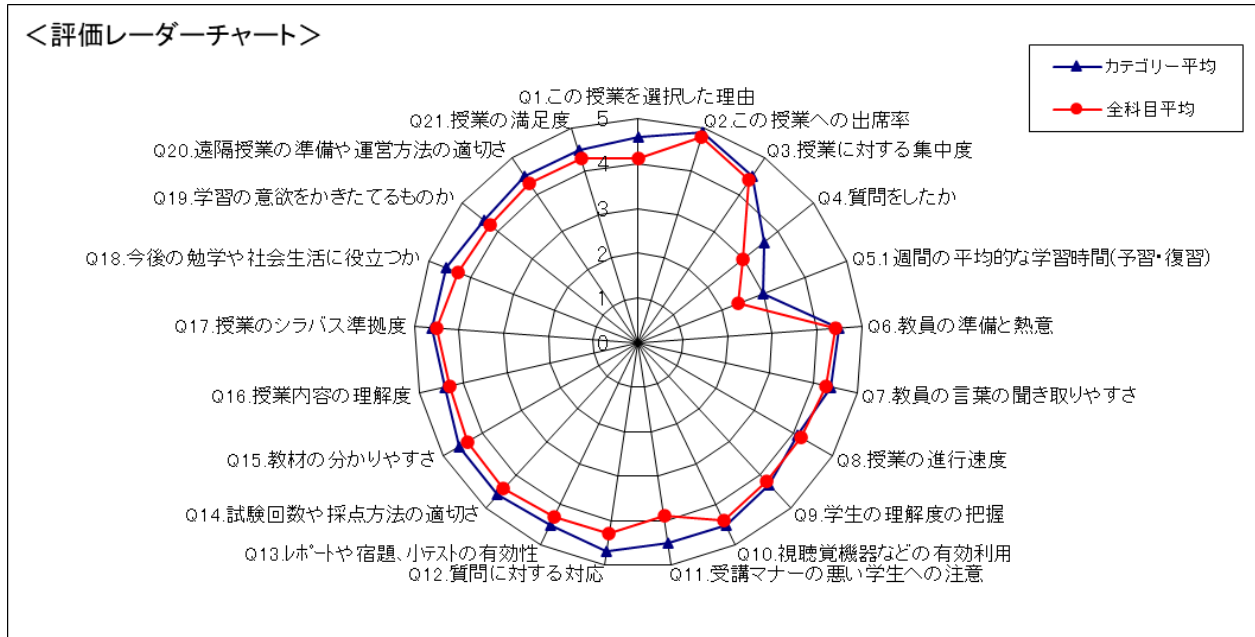
集計表のレーダーチャートにみるように、異文化交流科目のうち語学における授業評価の全体的な傾向は、「全科目平均」よりもほぼすべての項目で上回っています。特に、「Q1. この授業を選択した理由」、「Q4. 質問をしたか」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」、そして「Q11.（対面授業の場合）受講マナーの悪い学生への注意」の4項目において、より高い傾向がありました。この理由として挙げられることは、少人数クラスのために教員学生間、また学生同士のコミュニケーションが円滑に進みやすかったことがあるでしょう。多くの場合に、教員が質疑応答と反復練習とを重視し、基本的に双方向の授業を展開しているからと想定できます。

自由記述において特に際立つ大略的な意見を示すとすると、学生の授業内容への志向を講義担当者側がよく把握し、学生個人の学習力に即した指導を心掛けていたとおぼしき意見が多かった点が特筆すべきでしょう。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目	
Q1.この授業を選択した理由	57 65.5%	25 28.7%	3 3.4%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	4.6 0.67	4.1 1.07	
Q2.この授業への出席率	80 92.0%	6 6.9%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.40	4.8 0.54	
Q3.授業に対する集中度	49 56.3%	36 41.4%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.58	4.4 0.77	
Q4.質問をしたか	18 20.7%	30 34.5%	21 24.1%	13 14.9%	2 2.3%	3 3.4%	3.6 1.06	3.0 1.39	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	12 13.8%	13 14.9%	26 29.9%	31 35.6%	5 5.7%	0 0.0%	3.0 1.13	2.4 1.14	
Q6.教員の準備と熱意	53 60.9%	28 32.2%	5 5.7%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.66	4.4 0.86	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	44 50.6%	35 40.2%	7 8.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.69	4.3 0.93	
Q8.授業の進行速度	36 41.4%	31 35.6%	16 18.4%	3 3.4%	1 1.1%	0 0.0%	4.1 0.91	4.2 0.90	
Q9.学生の理解度の把握	40 46.0%	37 42.5%	8 9.2%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	4.3 0.70	4.2 0.95	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	54 62.1%	25 28.7%	7 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	4.5 0.64	4.4 0.81	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	47 54.0%	13 14.9%	9 10.3%	1 1.1%	0 0.0%	17 19.5%	4.5 0.77	3.9 1.03	
Q12.質問に対する対応	60 69.0%	25 28.7%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	4.7 0.49	4.3 0.90	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	50 57.5%	32 36.8%	2 2.3%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.3%	4.5 0.61	4.3 0.87	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	52 59.8%	32 36.8%	2 2.3%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.60	4.4 0.86	
Q15.教材の分かりやすさ	54 62.1%	28 32.2%	5 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.60	4.4 0.82	
Q16.授業内容の理解度	41 47.1%	44 50.6%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.54	4.3 0.84	
Q17.授業のシラバス準拠度	57 65.5%	26 29.9%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.3%	4.6 0.57	4.5 0.71	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	53 60.9%	31 35.6%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.3%	4.6 0.56	4.3 0.87	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	41 47.1%	39 44.8%	2 2.3%	2 2.3%	0 0.0%	3 3.4%	4.4 0.66	4.2 0.97	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	47 54.0%	33 37.9%	4 4.6%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.3%	4.5 0.64	4.3 0.89	
Q21.授業の満足度	47 54.0%	33 37.9%	5 5.7%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	4.5 0.66	4.3 0.89	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



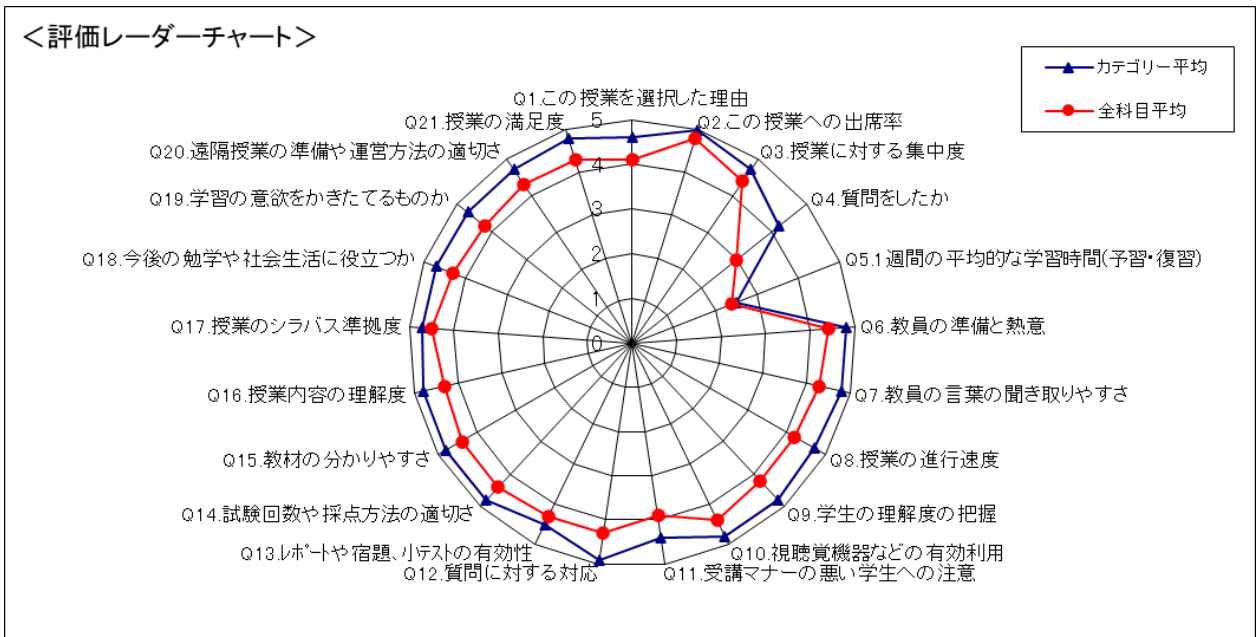
<異文化交流科目：社会と文化（異文化ゼミナール）>

異文化交流科目のうち異文化ゼミナールに対する「授業評価」の傾向は、全項目において平均を大きく上回っています。中でも「Q4. 質問をしたか」の項目については、圧倒的に質問の回数が多いことがわかります。これは少人数のゼミナールゆえの結果でしょう。少人数のゼミナールかつ強制ではなく自分の興味関心で選択した授業だからこそ、受講者同士や教員とのやりとりが増え、満足度の高い授業環境になっていると言えます。

「自由記述」においては、数少ない対面授業の機会であり、グループワークを通じて友人ができたり、イメージしていた大学での学びができたことを喜ぶコメントが多く見受けられました。コロナ禍ということもあり、想像と違う大学生活を強いられることが多かった1年生にとって大学で学ぶ喜びを実感できるものであったことが伝わってきます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	0	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	17 70.8%	5 20.8%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.6	4.1
Q2.この授業への出席率	23 95.8%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	5.0	4.8
Q3.授業に対する集中度	17 70.8%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	1	4.7	4.4
Q4.質問をしたか	11 45.8%	9 37.5%	2 8.3%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.2	3.0
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	3 12.5%	3 12.5%	5 20.8%	6 25.0%	7 29.2%	0 0.0%	0	2.5	2.4
Q6.教員の準備と熱意	20 83.3%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	4.4
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	19 79.2%	5 20.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	4.3
Q8.授業の進行速度	16 66.7%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	4.2
Q9.学生の理解度の把握	20 83.3%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	4.2
Q10.視聴覚機器などの有効利用	21 87.5%	2 8.3%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	4.4
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	13 54.2%	3 12.5%	3 12.5%	0 0.0%	1 4.2%	4 16.7%	4	4.4	3.9
Q12.質問に対する対応	22 91.7%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.9	4.3
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	15 62.5%	6 25.0%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.5	4.3
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	19 79.2%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	1	4.8	4.4
Q15.教材の分かりやすさ	18 75.0%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	4.4
Q16.授業内容の理解度	18 75.0%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	4.3
Q17.授業のシラバス準拠度	17 70.8%	7 29.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	4.5
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	17 70.8%	7 29.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	4.3
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	17 70.8%	6 25.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	4.2
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	17 70.8%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	1	4.7	4.3
Q21.授業の満足度	19 79.2%	5 20.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	4.3

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。



<異文化交流科目：社会と文化（異文化ゼミナール以外）>

異文化交流科目のうち、「社会と文化」についての科目の中で、異文化ゼミナールを除いた講義形式の科目が対象です。「全科目平均」と比較したレーダーチャートを見てもほぼ平均と一致しています。わずかに平均に達しなかったのは、「Q4. 質問をしたか」「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」です。受講生のほとんどが1年生ということもあり、講義中の質問は難しいのかもしれませんが、しかし、多くの講義において質問を含めたコメントカード回収しており、講義中の手を挙げての質問は少ないとしてもカードでの質問はしているようです。「自由記述」に「毎回質問によく回答してくれた」といったコメントが複数見られました。

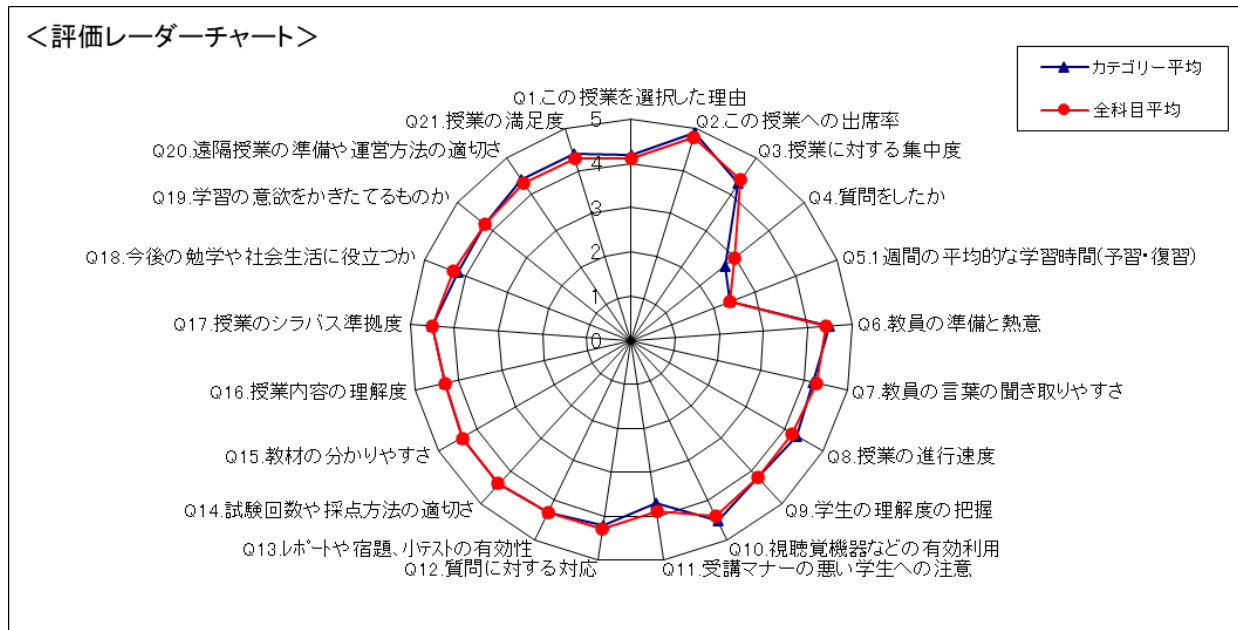
教員の問題でもあり学生の問題でもあるのが、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」です。とても十分な学習時間とは言えません。学生の自主的な学習を期待するだけでなく、教員も授業の難易度を上げ予習・復習が必須の講義にしていく必要があるでしょう。

「自由記述」では、「オンライン授業で対面を避けて安全に受講できた」「オンデマンドながら、1つ1つ丁寧に解説していた」「穴埋め形式で勉強しやすかった」といった記述が多くありました。オンラインでの授業も各教員が工夫し、年々わかりやすくなっていることがわかります。昨年度から課題としてあげられていたオンライン授業での板書に関わる不満もそのような工夫により大きく改善されたようです。

質問内容	上段: 平均値							カテゴリー	全科目
	5	4	3	2	1	0・無回答	下段: 標準偏差		
Q1.この授業を選択した理由	236 58.7%	62 15.4%	27 6.7%	45 11.2%	19 4.7%	13 3.2%	4.2	4.1	
Q2.この授業への出席率	358 89.1%	38 9.5%	4 1.0%	2 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	4.9	4.8	
Q3.授業に対する集中度	196 48.8%	157 39.1%	31 7.7%	10 2.5%	4 1.0%	4 1.0%	4.3	4.4	
Q4.質問をしたか	60 14.9%	38 9.5%	107 26.6%	35 8.7%	125 31.1%	37 9.2%	2.7	3.0	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	30 7.5%	30 7.5%	95 23.6%	159 39.6%	88 21.9%	0 0.0%	2.4	2.4	
Q6.教員の準備と熱意	230 57.2%	130 32.3%	29 7.2%	2 0.5%	2 0.5%	9 2.2%	4.5	4.4	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	192 47.8%	126 31.3%	59 14.7%	11 2.7%	6 1.5%	8 2.0%	4.2	4.3	
Q8.授業の進行速度	199 49.5%	119 29.6%	72 17.9%	3 0.7%	1 0.2%	8 2.0%	4.3	4.2	
Q9.学生の理解度の把握	163 40.5%	116 28.9%	80 19.9%	4 1.0%	3 0.7%	36 9.0%	4.2	4.2	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	231 57.5%	122 30.3%	32 8.0%	0 0.0%	3 0.7%	14 3.5%	4.5	4.4	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	66 16.4%	12 3.0%	118 29.4%	1 0.2%	2 0.5%	203 50.5%	3.7	3.9	
Q12.質問に対する対応	158 39.3%	65 16.2%	79 19.7%	1 0.2%	1 0.2%	98 24.4%	4.2	4.3	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	190 47.3%	158 39.3%	37 9.2%	4 1.0%	4 1.0%	9 2.2%	4.3	4.3	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	210 52.2%	124 30.8%	40 10.0%	4 1.0%	5 1.2%	19 4.7%	4.4	4.4	
Q15.教材の分かりやすさ	219 54.5%	133 33.1%	32 8.0%	3 0.7%	6 1.5%	9 2.2%	4.4	4.4	
Q16.授業内容の理解度	170 42.3%	180 44.8%	37 9.2%	7 1.7%	2 0.5%	6 1.5%	4.3	4.3	
Q17.授業のシラバス準拠度	229 57.0%	135 33.6%	19 4.7%	0 0.0%	1 0.2%	18 4.5%	4.5	4.5	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	174 43.3%	154 38.3%	49 12.2%	8 2.0%	5 1.2%	12 3.0%	4.2	4.3	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	161 40.0%	151 37.6%	60 14.9%	15 3.7%	4 1.0%	11 2.7%	4.2	4.2	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	220 54.7%	129 32.1%	32 8.0%	6 1.5%	3 0.7%	12 3.0%	4.4	4.3	
Q21.授業の満足度	204 50.7%	146 36.3%	32 8.0%	11 2.7%	2 0.5%	7 1.7%	4.4	4.3	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



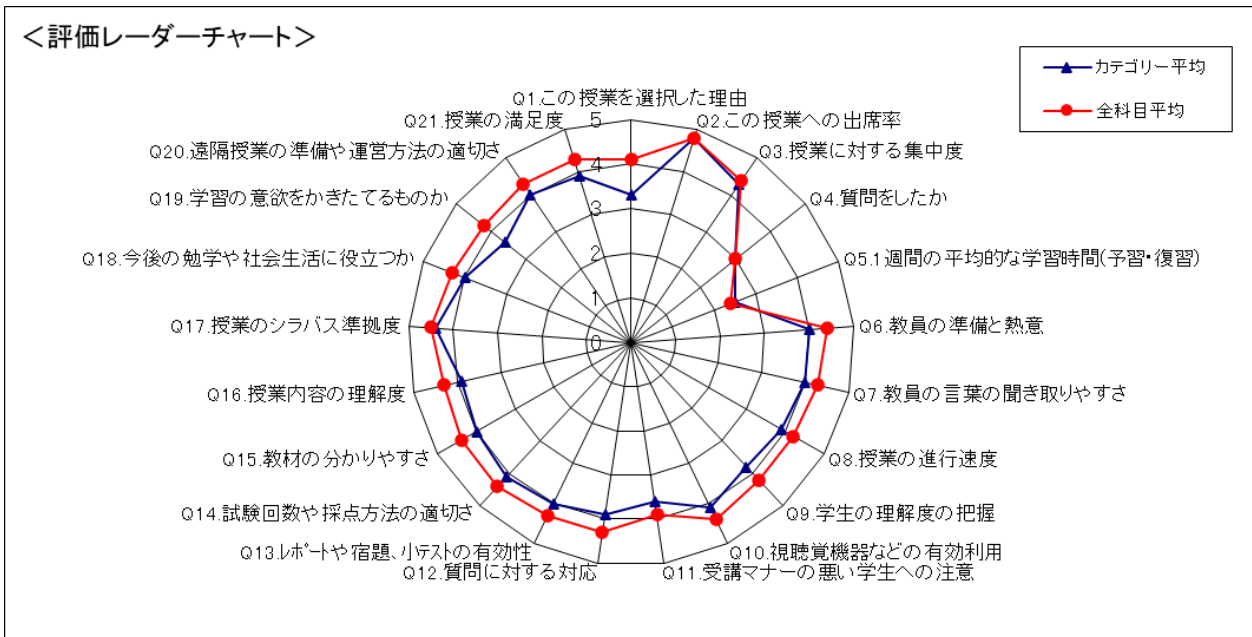
<専門基礎科目>

集計表のレーダーチャートにみるように、専門基礎科目（①経済システム理論Ⅱ、②経済と社会の仕組みⅡ、および③コンピュータ・リテラシーⅡ）に対する結果で、全評価項目の中で「全科目平均」と同様の結果であった、「Q2. 授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q4. 質問をしたか」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」、そして「Q17. 授業のシラバス準拠度」の5項目以外の項目総てにおいて、より低い傾向にありました。この理由として考えられることは、「Q1. この授業を選択した理由」と「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」とが、「全科目平均」より目立って低いことであり、このことは学生の学習志向に対して、より反した状況を呈している可能性があります。この後期の結果のみについてはありますが、もしも専門基礎科目への学生の評価が芳しくない事態が続くのであれば、内容の大きな変更や科目自体の再編を視野に入れるべき時期が来てしまっていると判断すべきかもしれません。

それでも自由記述における受講生の反応は、該当の3科目総てにおいて、概してすこぶる良好な結果が出ています。対面授業とオン＝デマンドとの併用は概して評判が良いといえるでしょう。より多数の教員が広範な内容を講義する専門基礎科目は、全体的評価の低調さとは反対に、科目独特の内容の広範さ・多様さにより、学習志向が多様な学生の受講意欲が分散されやすいのかも知れません。ですからなおのこと、受講意欲を高める改革が必要といえるでしょう。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目	
Q1.この授業を選択した理由	34 14.1%	17 7.1%	184 76.3%	3 1.2%	1 0.4%	2 0.8%	3.3	4.1	
Q2.この授業への出席率	211 87.6%	18 7.5%	3 1.2%	3 1.2%	6 2.5%	0 0.0%	4.8	4.8	
Q3.授業に対する集中度	116 48.1%	89 36.9%	17 7.1%	6 2.5%	6 2.5%	7 2.9%	4.3	4.4	
Q4.質問をしたか	37 15.4%	37 15.4%	71 29.5%	31 12.9%	44 18.3%	21 8.7%	3.0	3.0	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	16 6.6%	22 9.1%	67 27.8%	90 37.3%	46 19.1%	0 0.0%	2.5	2.4	
Q6.教員の準備と熱意	96 39.8%	79 32.8%	31 12.9%	17 7.1%	10 4.1%	8 3.3%	4.0	4.4	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	94 39.0%	82 34.0%	25 10.4%	26 10.8%	6 2.5%	8 3.3%	4.0	4.3	
Q8.授業の進行速度	89 36.9%	61 25.3%	64 26.6%	11 4.6%	7 2.9%	9 3.7%	3.9	4.2	
Q9.学生の理解度の把握	72 29.9%	62 25.7%	49 20.3%	14 5.8%	15 6.2%	29 12.0%	3.8	4.2	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	101 41.9%	70 29.0%	34 14.1%	7 2.9%	9 3.7%	20 8.3%	4.1	4.4	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	37 15.4%	9 3.7%	71 29.5%	4 1.7%	4 1.7%	116 48.1%	3.6	3.9	
Q12.質問に対する対応	76 31.5%	42 17.4%	48 19.9%	10 4.1%	8 3.3%	57 23.7%	3.9	4.3	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	91 37.8%	87 36.1%	26 10.8%	14 5.8%	13 5.4%	10 4.1%	4.0	4.3	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	94 39.0%	74 30.7%	33 13.7%	11 4.6%	9 3.7%	20 8.3%	4.1	4.4	
Q15.教材の分かりやすさ	97 40.2%	76 31.5%	33 13.7%	15 6.2%	8 3.3%	12 5.0%	4.0	4.4	
Q16.授業内容の理解度	83 34.4%	88 36.5%	32 13.3%	21 8.7%	12 5.0%	5 2.1%	3.9	4.3	
Q17.授業のシラバス準拠度	114 47.3%	80 33.2%	19 7.9%	1 0.4%	3 1.2%	24 10.0%	4.4	4.5	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	94 39.0%	82 34.0%	28 11.6%	15 6.2%	11 4.6%	11 4.6%	4.0	4.3	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	68 28.2%	68 28.2%	52 21.6%	20 8.3%	20 8.3%	13 5.4%	3.6	4.2	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	95 39.4%	75 31.1%	32 13.3%	16 6.6%	12 5.0%	11 4.6%	4.0	4.3	
Q21.授業の満足度	89 36.9%	78 32.4%	33 13.7%	20 8.3%	13 5.4%	8 3.3%	3.9	4.3	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。



< 専門関連科目 >

カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を上回る項目は、8項目 (Q1. Q3. Q7. Q8. Q10. Q13. Q14. Q21.) であった。カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を下回る項目は、4項目 (Q4. Q5. Q11. Q12.) であった。ただし、全科目の平均値を下回る項目のその差はいずれも 0.1ポイントから0.2ポイントであり大きな格差とはいえない。

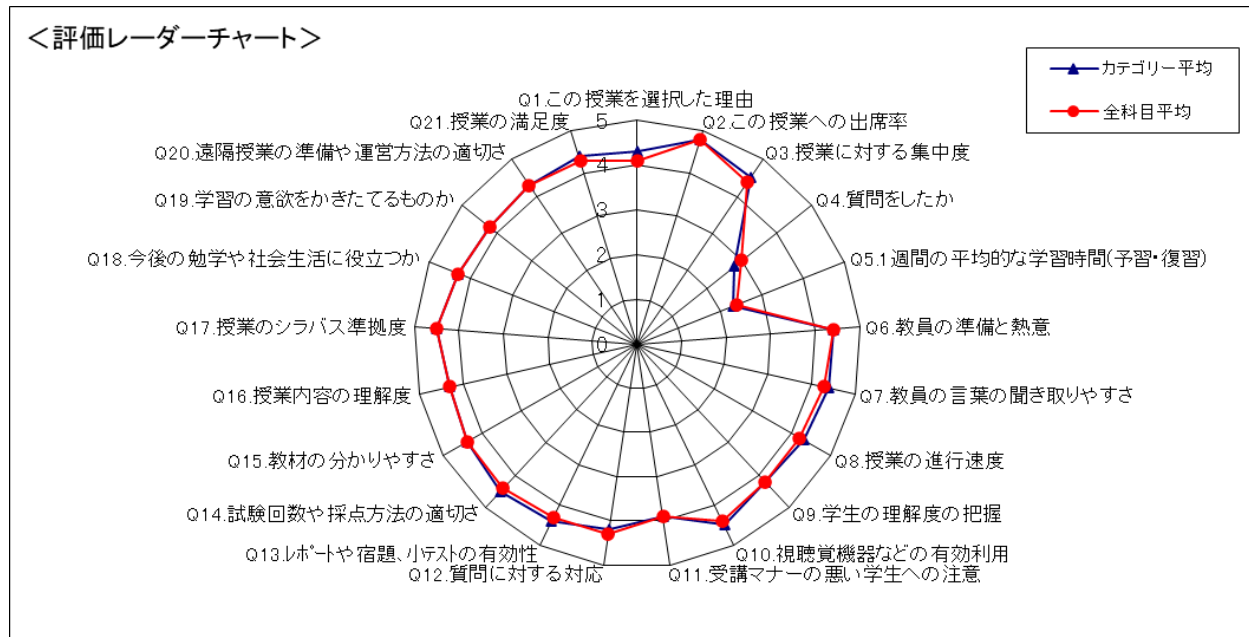
カテゴリーの平均値がもっとも高いカテゴリーは、「Q2. この授業への出席率」の「4.8」であった。カテゴリーの平均値がもっとも低いカテゴリーは、「Q5. 1週間の平均的な学習時間 (予習・復習)」の「2.3」であった。すなわち、予習および復習が十分になされないまま、講義が進められていることを意味する。講義 (シラバス) の到達目標には、1コマの授業に一定程度の予習および復習が「必要」であることを、教員、履修生ともに引き続き再認識する必要があると強く感じる。

自由記述では、良かった点をあげた回答が32件、改善を求める回答が5件であった。昨年のコロナ禍のなか非対面講義におけるさまざまな反省を踏まえて、今年度後期のオンライン講義については、前期同様、教員もよりスムーズな運営に努めることができたといえる。さらに、学生にとっても、オンライン講義がある程度抵抗なく受け入れられている証と推察される。改善を求める回答のなかでオンライン講義への不満は1件にとどまっている。

質問内容	上段: 平均値							カテゴリー	全科目
	5	4	3	2	1	0・無回答	下段: 標準偏差		
Q1.この授業を選択した理由	83 60.6%	21 15.3%	12 8.8%	11 8.0%	4 2.9%	6 4.4%	4.3	4.1	
Q2.この授業への出席率	117 85.4%	14 10.2%	3 2.2%	1 0.7%	2 1.5%	0 0.0%	4.8	4.8	
Q3.授業に対する集中度	79 57.7%	44 32.1%	8 5.8%	2 1.5%	1 0.7%	3 2.2%	4.5	4.4	
Q4.質問をしたか	17 12.4%	17 12.4%	41 29.9%	17 12.4%	30 21.9%	15 10.9%	2.8	3.0	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	8 5.8%	10 7.3%	34 24.8%	53 38.7%	32 23.4%	0 0.0%	2.3	2.4	
Q6.教員の準備と熱意	78 56.9%	39 28.5%	13 9.5%	3 2.2%	2 1.5%	2 1.5%	4.4	4.4	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	74 54.0%	41 29.9%	13 9.5%	4 2.9%	2 1.5%	3 2.2%	4.4	4.3	
Q8.授業の進行速度	73 53.3%	38 27.7%	19 13.9%	3 2.2%	2 1.5%	2 1.5%	4.3	4.2	
Q9.学生の理解度の把握	62 45.3%	38 27.7%	20 14.6%	3 2.2%	2 1.5%	12 8.8%	4.2	4.2	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	82 59.9%	35 25.5%	13 9.5%	1 0.7%	2 1.5%	4 2.9%	4.5	4.4	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	33 24.1%	8 5.8%	38 27.7%	0 0.0%	2 1.5%	56 40.9%	3.9	3.9	
Q12.質問に対する対応	54 39.4%	21 15.3%	22 16.1%	3 2.2%	1 0.7%	36 26.3%	4.2	4.3	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	76 55.5%	42 30.7%	10 7.3%	3 2.2%	2 1.5%	4 2.9%	4.4	4.3	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	84 61.3%	33 24.1%	8 5.8%	2 1.5%	1 0.7%	9 6.6%	4.5	4.4	
Q15.教材の分かりやすさ	67 48.9%	50 36.5%	13 9.5%	1 0.7%	1 0.7%	5 3.6%	4.4	4.4	
Q16.授業内容の理解度	65 47.4%	52 38.0%	12 8.8%	4 2.9%	1 0.7%	3 2.2%	4.3	4.3	
Q17.授業のシラバス準拠度	84 61.3%	34 24.8%	9 6.6%	2 1.5%	1 0.7%	7 5.1%	4.5	4.5	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	66 48.2%	45 32.8%	16 11.7%	3 2.2%	3 2.2%	4 2.9%	4.3	4.3	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	59 43.1%	53 38.7%	13 9.5%	6 4.4%	4 2.9%	2 1.5%	4.2	4.2	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	69 50.4%	42 30.7%	13 9.5%	3 2.2%	3 2.2%	7 5.1%	4.3	4.3	
Q21.授業の満足度	71 51.8%	48 35.0%	10 7.3%	2 1.5%	3 2.2%	3 2.2%	4.4	4.3	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<商学科専門科目>

商学科専門科目平均は全科目平均とほぼ同様の傾向となりました。Q2「この授業への出席率」が非常に高く、「80%以上」とした回答が88.5%にのぼり、「60%以上」の9.0%と合わせると、この両者で97.5%を占めることとなります。これと対照的なのがQ5「1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」で、「1時間以上2時間未満」が32.3%、次いで「1時間未満」が30.4%、「2時間以上3時間未満」が25.2%と続きます。6割以上の学生が予習・復習2時間未満となっています。これに次いで低かったものがQ4「質問をしたか」で、「どちらともいえない」が32.9%と三分の一、「全く質問しなかった」学生も22.0%いました。逆に「よく質問した」は17.1%、「ある程度質問した」も14.9%にとどまっています。質問に消極的な姿を表す結果となっています。

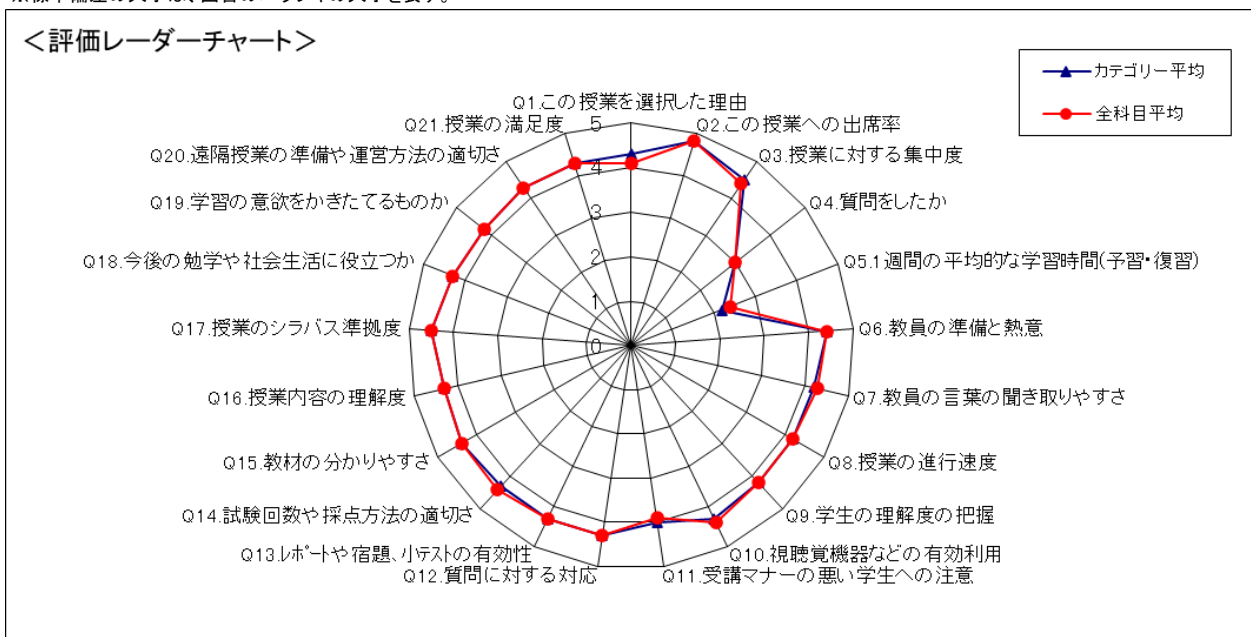
さらに商学科専門科目平均と全科目平均の項目別評価傾向を比較すると、Q1「この授業を選択した理由」、Q3「授業に対する集中度」、Q11「受講マナーの悪い学生への注意」で僅かではありますが商学科専門科目平均が全科目平均を上回る結果となりました。逆に商学科専門科目が全科目平均を下回った項目はQ5「1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」、Q7「教員の言葉の聞き取りやすさ」、Q10「視聴覚機器などの有効利用」、Q14「試験回数や採点方法の適切さ」でした。

Q2「この授業への出席率」、Q4「質問をしたか」、Q6「教員の準備と熱意」、Q8「授業の進行速度」、Q9「学生の理解度の把握」、Q12「質問に対する対応」、Q13「レポートや宿題、小テストの有効性」、Q15「教材の分かりやすさ」、Q16「授業内容の理解度」、Q17「授業のシラバス準拠度」、Q18「今後の勉学や社会生活に役立つか」、Q19「学習の意欲をかきたてるものか」、Q20「授業の満足度」、Q21「授業の満足度」では全科目平均と同水準でした。

自由記述内容を見ると「この授業で特に良かった点」では、「授業の進度がとても丁度良かった。また、一度の授業量や学習内容も丁度よく、課題の評価も適切につけてくださった。」、「個人的に体調が悪い日が続いていたため、このような授業形式は自分のペースで学習することが出来、とても良かった。さらに、授業内容や一回の学習量も良かった。」、「疑問を自分で調べて解決したいと思えるような授業でした。次も履修します。」といった記述が挙げられています。「この授業で特に改善してほしい点」では、「トイレ休憩の時間が欲しかったです。」、「シラバスを見てゼミを決めたのに、シラバスとは全く関係ないことを授業でやるのはやめてほしい。」、「メモを取る際に、自分の書く速度が間に合わず途中でかけない時があった。」といった要望がありました。「その他の意見・要望」は、「約二年間ゼミを受け自分自身で考える力が入学当初よりは身につきました。また、事例から自分なりの考えを出すことは発想力の向上にもつながり物事をいろいろな方向から見る事が出来ました。人として成長できたゼミでした。ありがとうございました。」、「広告について深く知り、街中にある広告によく目がいき、深く考えるようになりました。今回の授業を、とってよかったです。」などがありました。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目	
Q1.この授業を選択した理由	178 55.3%	78 24.2%	39 12.1%	12 3.7%	6 1.9%	9 2.8%	4.3	1.07	
Q2.この授業への出席率	285 88.5%	29 9.0%	1 0.3%	4 1.2%	3 0.9%	0 0.0%	4.8	0.54	
Q3.授業に対する集中度	187 58.1%	100 31.1%	25 7.8%	4 1.2%	2 0.6%	4 1.2%	4.5	0.77	
Q4.質問をしたか	55 17.1%	48 14.9%	106 32.9%	25 7.8%	71 22.0%	17 5.3%	3.0	1.39	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	18 5.6%	21 6.5%	81 25.2%	104 32.3%	98 30.4%	0 0.0%	2.2	1.14	
Q6.教員の準備と熱意	176 54.7%	100 31.1%	29 9.0%	8 2.5%	4 1.2%	5 1.6%	4.4	0.86	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	150 46.6%	80 24.8%	42 13.0%	18 5.6%	4 1.2%	28 8.7%	4.2	0.93	
Q8.授業の進行速度	156 48.4%	102 31.7%	45 14.0%	9 2.8%	5 1.6%	5 1.6%	4.2	0.90	
Q9.学生の理解度の把握	137 42.5%	88 27.3%	62 19.3%	6 1.9%	6 1.9%	23 7.1%	4.2	0.95	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	156 48.4%	98 30.4%	42 13.0%	7 2.2%	2 0.6%	17 5.3%	4.3	0.81	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	95 29.5%	29 9.0%	83 25.8%	6 1.9%	1 0.3%	108 33.5%	4.0	1.03	
Q12.質問に対する対応	138 42.9%	76 23.6%	44 13.7%	3 0.9%	3 0.9%	58 18.0%	4.3	0.86	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	153 47.5%	100 31.1%	35 10.9%	6 1.9%	6 1.9%	22 6.8%	4.3	0.87	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	159 49.4%	82 25.5%	42 13.0%	6 1.9%	4 1.2%	29 9.0%	4.3	0.86	
Q15.教材の分かりやすさ	164 50.9%	118 36.6%	21 6.5%	8 2.5%	2 0.6%	9 2.8%	4.4	0.82	
Q16.授業内容の理解度	157 48.8%	121 37.6%	27 8.4%	7 2.2%	3 0.9%	7 2.2%	4.3	0.84	
Q17.授業のシラバス準拠度	187 58.1%	93 28.9%	19 5.9%	1 0.3%	5 1.6%	17 5.3%	4.5	0.71	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	156 48.4%	114 35.4%	34 10.6%	7 2.2%	4 1.2%	7 2.2%	4.3	0.87	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	141 43.8%	113 35.1%	46 14.3%	13 4.0%	3 0.9%	6 1.9%	4.2	0.97	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	158 49.1%	90 28.0%	40 12.4%	8 2.5%	3 0.9%	23 7.1%	4.3	0.89	
Q21.授業の満足度	155 48.1%	119 37.0%	24 7.5%	10 3.1%	6 1.9%	8 2.5%	4.3	0.89	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。



<観光産業学科専門科目>

カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を上回る項目数は、14項目（Q1. Q2. Q3. Q5. Q7. Q8. Q10. Q11. Q12. Q15. Q16. Q18. Q19. Q21.）であった。カテゴリーの平均値が、全科目の平均値を下回る項目はなかった。

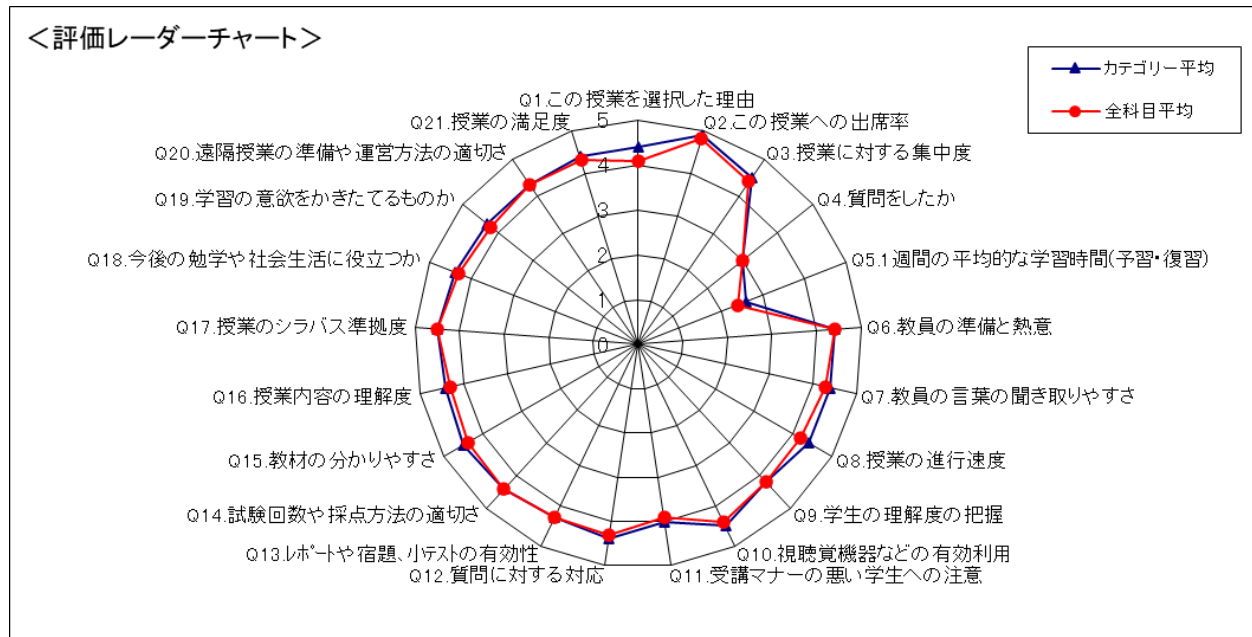
カテゴリーの平均値がもっとも高いカテゴリーは、「Q2. この授業への出席率」の「4.9」であった。カテゴリーの平均値がもっとも低いカテゴリーは、「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」の「2.6」であった。すなわち、予習および復習がなされないまま、講義が進められていることを意味する。講義（シラバス）の到達目標には、1コマの授業に一定時間の予習および復習が「必要」であることを、教員、履修生ともに引き続き再認識する必要があると強く感じる。

自由記述では、良かった点をあげた回答が16件、改善を求める回答が5件であった。昨年のコロナ禍のなか非対面講義におけるさまざまな反省を踏まえて、今年度後期のオンライン講義については、前期同様、教員もよりスムーズな運営に努めることができたといえる。さらに、学生にとっても、オンライン講義がある程度抵抗なく受け入れられている証と推察される。改善を求める回答のなかには、オンライン講義への不満はほぼなくなっていた。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段:平均値	下段:標準偏差	全科目
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー		
Q1.この授業を選択した理由	89 68.5%	12 9.2%	17 13.1%	7 5.4%	1 0.8%	4 3.1%	4.4	4.1	
Q2.この授業への出席率	115 88.5%	14 10.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9	4.8	
Q3.授業に対する集中度	79 60.8%	40 30.8%	9 6.9%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	4.5	4.4	
Q4.質問をしたか	22 16.9%	18 13.8%	44 33.8%	19 14.6%	24 18.5%	3 2.3%	3.0	3.0	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	15 11.5%	15 11.5%	28 21.5%	52 40.0%	20 15.4%	0 0.0%	2.6	2.4	
Q6.教員の準備と熱意	74 56.9%	36 27.7%	14 10.8%	1 0.8%	3 2.3%	2 1.5%	4.4	4.4	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	73 56.2%	41 31.5%	11 8.5%	4 3.1%	0 0.0%	1 0.8%	4.4	4.3	
Q8.授業の進行速度	69 53.1%	41 31.5%	15 11.5%	3 2.3%	0 0.0%	2 1.5%	4.4	4.2	
Q9.学生の理解度の把握	58 44.6%	41 31.5%	21 16.2%	7 5.4%	0 0.0%	3 2.3%	4.2	4.2	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	78 60.0%	36 27.7%	10 7.7%	1 0.8%	0 0.0%	5 3.8%	4.5	4.4	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	35 26.9%	5 3.8%	36 27.7%	1 0.8%	0 0.0%	53 40.8%	4.0	3.9	
Q12.質問に対する対応	64 49.2%	25 19.2%	20 15.4%	1 0.8%	0 0.0%	20 15.4%	4.4	4.3	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	60 46.2%	51 39.2%	10 7.7%	2 1.5%	1 0.8%	6 4.6%	4.3	4.3	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	61 46.9%	46 35.4%	8 6.2%	4 3.1%	0 0.0%	11 8.5%	4.4	4.4	
Q15.教材の分かりやすさ	70 53.8%	51 39.2%	6 4.6%	1 0.8%	0 0.0%	2 1.5%	4.5	4.4	
Q16.授業内容の理解度	63 48.5%	54 41.5%	8 6.2%	3 2.3%	0 0.0%	2 1.5%	4.4	4.3	
Q17.授業のシラバス準拠度	72 55.4%	39 30.0%	5 3.8%	3 2.3%	2 1.5%	9 6.9%	4.5	4.5	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	61 46.9%	54 41.5%	10 7.7%	0 0.0%	1 0.8%	4 3.1%	4.4	4.3	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	61 46.9%	50 38.5%	11 8.5%	3 2.3%	2 1.5%	3 2.3%	4.3	4.2	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	65 50.0%	40 30.8%	13 10.0%	4 3.1%	2 1.5%	6 4.6%	4.3	4.3	
Q21.授業の満足度	69 53.1%	42 32.3%	13 10.0%	3 2.3%	1 0.8%	2 1.5%	4.4	4.3	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<専門キャリアアップ科目>

専門キャリアアップ科目の傾向も全科目平均と同様にQ2「この授業への出席率」が非常に高く、「80%以上」と回答したものが88.4%と多数を占めています。「60%以上」も10.5%おり、出席率は非常に良い結果となっています。これとは逆にQ5「1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」が低く、「1時間以上2時間未満」が47.7%、次いで「2間以上3時間未満」が29.1%、「1時間未満」の回答も8.1%ありました。Q4「質問をしたか」もQ5に次ぎ低い結果となっていますが、「どちらともいえない」29.1%に対し、「積極的に質問した」が26.7%、「ある程度質問した」も23.8%と両方で半数となります。

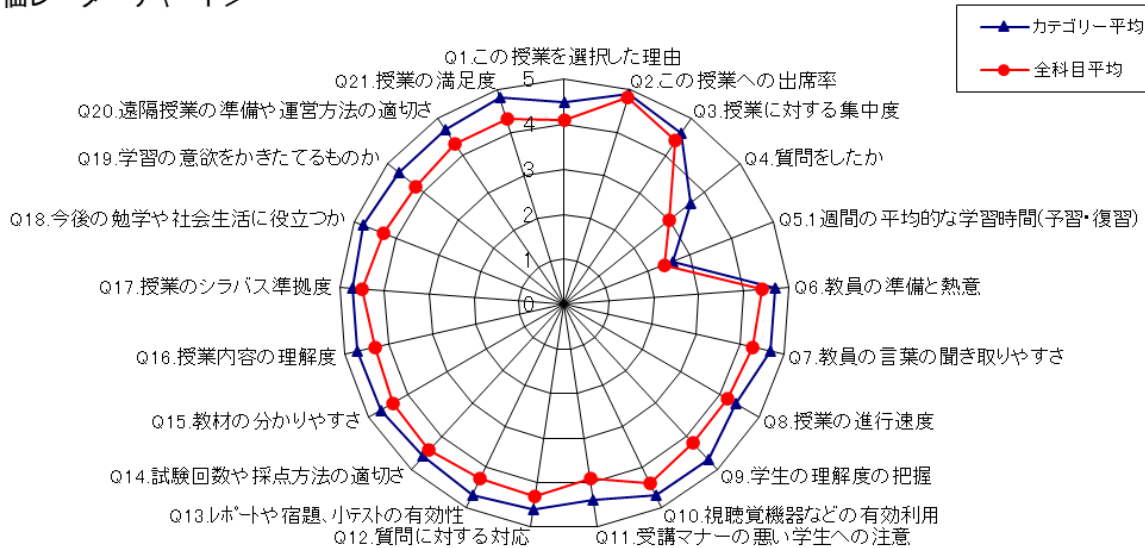
専門キャリアアップ科目のカテゴリ平均と全科目平均の項目別比較では、全ての項目で専門キャリアアップ科目が全科目平均を上回りました。特にQ1「この授業を選択した理由」、Q4「質問をしたか」、Q7「教員の言葉の聞き取りやすさ」、Q9「学生の理解度の把握」、Q11「受講マナーの悪い学生への注意」、Q13「レポートや宿題、小テストの有効性」、Q15「教材の分かりやすさ」、Q16「授業内容の理解度」、Q18「今後の勉学や社会生活に役立つか」、Q19「学習の意欲をかきたてるものか」、Q20「授業の満足度」、Q21「授業の満足度」の回答で、全科目平均を上回る傾向がより強調される結果となっています。

自由記述内容をみると「この授業で特に良かった点」では、「無料で資格勉強ができる。」、「欠席してしまった際のサポートしてくれるところ。頑張ろうと思えた。」、「資格取得のための学習ではありますが、実務でも使える内容だったのでとても勉強になりました。」「他の科目についても、公務員試験に出題されやすい問題を教えてくださった点。」といった意見が寄せられました。「この授業で特に改善してほしい点」では、「アクリル板があり、黒板に書くととても見えにくく、進行スピードも速かったため、着いていくのが大変でした。」、「コロナ禍のため、仕方ないことだが、対面の講義の方が、学習がより身についたと感じた。」といった要望がありました。「その他の意見・要望」では、「オンライン授業にもしっかりと対応していてとても意欲がでて授業に取り組むことができました。また、もう少し勉強して試験にも受けてみたいと思いました。」といった記述がみられました。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	0	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	50 58.1%	34 39.5%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.5	1.07
Q2.この授業への出席率	76 88.4%	9 10.5%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.9	0.54
Q3.授業に対する集中度	54 62.8%	30 34.9%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.6	0.77
Q4.質問をしたか	23 26.7%	22 25.6%	25 29.1%	7 8.1%	7 8.1%	2 2.3%	2	3.6	1.39
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	6 7.0%	7 8.1%	25 29.1%	41 47.7%	7 8.1%	0 0.0%	0	2.6	1.14
Q6.教員の準備と熱意	69 80.2%	13 15.1%	2 2.3%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.86
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	66 76.7%	15 17.4%	4 4.7%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.93
Q8.授業の進行速度	51 59.3%	20 23.3%	14 16.3%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.4	0.90
Q9.学生の理解度の把握	61 70.9%	21 24.4%	3 3.5%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.95
Q10.視聴覚機器などの有効利用	63 73.3%	20 23.3%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	1	4.7	0.81
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	51 59.3%	5 5.8%	13 15.1%	2 2.3%	1 1.2%	14 16.3%	14	4.4	1.03
Q12.質問に対する対応	59 68.6%	20 23.3%	5 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	2	4.6	0.90
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	66 76.7%	18 20.9%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.87
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	59 68.6%	21 24.4%	6 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.6	0.86
Q15.教材の分かりやすさ	64 74.4%	19 22.1%	3 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.82
Q16.授業内容の理解度	64 74.4%	20 23.3%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.84
Q17.授業のシラバス準拠度	65 75.6%	19 22.1%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.71
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	68 79.1%	16 18.6%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	0.87
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	63 73.3%	22 25.6%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.7	0.97
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	63 73.3%	12 14.0%	6 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.8%	5	4.7	0.89
Q21.授業の満足度	67 77.9%	18 20.9%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	4.8	0.89

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<教職科目に関する科目>

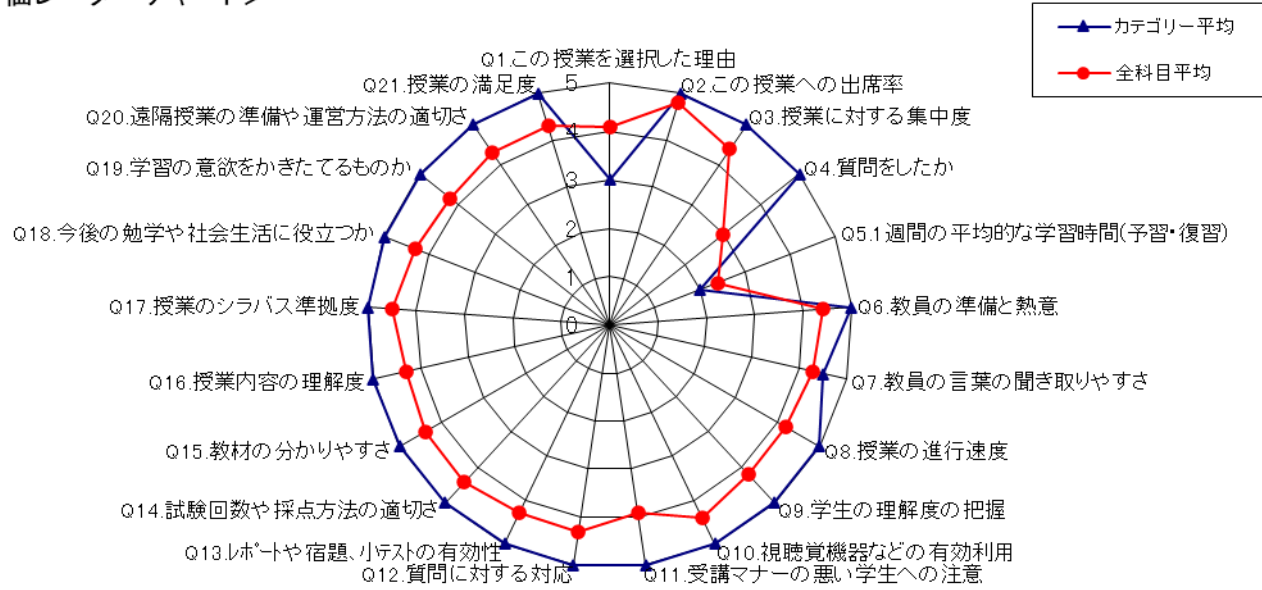
教職科目に関する「授業評価」の全体的な傾向は、「全教科平均」と比較したレーダーチャートに示されている通り、ほぼすべての項目にわたって「全教科平均」をはるかに上回る高い評価を得ています。回収率が低かったという要因もあるかもしれませんが、それにしてもほぼ満点に近い高い評価を得ていることは特筆すべきと思われます。

ただし、「自由記述」についても記述がなく、アンケート自体への取り組みが積極的で無かったのはとても残念です。しかし、例年不満が少なく満足度が高いことから推測するに、不満はないからわざわざ記入しなかったとも思われます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段:平均値	下段:標準偏差	全科目
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー		
Q1.この授業を選択した理由	0	0	2	0	0	0	3.0	4.1	
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	1.07	
Q2.この授業への出席率	2	0	0	0	0	0	5.0	4.8	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.54	
Q3.授業に対する集中度	2	0	0	0	0	0	5.0	4.4	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.77	
Q4.質問をしたか	2	0	0	0	0	0	5.0	3.0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	1.39	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	0	0	0	2	0	0	2.0	2.4	
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00	1.14	
Q6.教員の準備と熱意	2	0	0	0	0	0	5.0	4.4	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.86	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	1	1	0	0	0	0	4.5	4.3	
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.93	
Q8.授業の進行速度	2	0	0	0	0	0	5.0	4.2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.90	
Q9.学生の理解度の把握	2	0	0	0	0	0	5.0	4.2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.95	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	2	0	0	0	0	0	5.0	4.4	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.81	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	1	0	0	0	0	1	5.0	3.9	
	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.00	1.03	
Q12.質問に対する対応	2	0	0	0	0	0	5.0	4.3	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.90	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	2	0	0	0	0	0	5.0	4.3	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.87	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	2	0	0	0	0	0	5.0	4.4	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.86	
Q15.教材の分かりやすさ	2	0	0	0	0	0	5.0	4.4	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.82	
Q16.授業内容の理解度	2	0	0	0	0	0	5.0	4.3	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.84	
Q17.授業のシラバス準拠度	2	0	0	0	0	0	5.0	4.5	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.71	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	2	0	0	0	0	0	5.0	4.3	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.87	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	2	0	0	0	0	0	5.0	4.2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.97	
Q20.遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	2	0	0	0	0	0	5.0	4.3	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.89	
Q21.授業の満足度	2	0	0	0	0	0	5.0	4.3	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.00	0.89	

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



北海商科大学 教育方法改善委員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161